

注3

大学番号：私272

[平成28年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

認可

徳島文理大学大学院看護学研究科看護学専攻(博士後期課程)

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人村崎学園

令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 企画部

職名・氏名 部長・鎌田真城

電話番号 088-622-0097

F A X 088-626-2998

e-mail kikaku1@tks.bunri-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について

(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

看護学研究科

＜看護学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	21
7. その他全般的事項	30

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人村崎学園

(2) 大学名

徳島文理大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒770-8514
徳島県徳島市山城町西浜傍示180番地

〒770-8560
徳島県徳島市寺島本町東一丁目八番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ムラサキ マサト) 村崎 正人 (平成元年5月)		
学長	(キリノ ユタカ) 桐野 豊 (平成18年4月)	(タムラ ヨシユキ) 田村 禎通 (平成30年4月)	
研究科長	(タカハシ(タシロ) テルコ) 高橋(田代) 照子 (平成28年4月)	(クロダ(サトウ) ユウコ) 黒田(佐藤) 裕子 (平成28年4月)	
		(タムラ ヨシユキ) 田村 禎通 (平成29年2月)	
		(タタラ カツノリ) 多田羅 勝義 (平成30年4月)	

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考	
		修業年限	入学定員	編入学定員		
看護学研究科 看護学専攻 (博士後期課程) 博士(看護学)	保健衛生学関係(看護学関係)	3年	3人	— 年次 人	9人	基礎となる学部等 ・保健福祉学部看護学科 ・看護学研究科看護学専攻 (博士前期課程) 平成28年度より 修士課程→博士前期課程に変更(28)

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	3人 (—) [—]	—人	3人 (—) [—]	—人	3人 (—) [—]	—人	3人 (—) [—]	—人	0.77倍	0.66倍			
志願者数	4 (—) [—]	—	4 (—) [—]	—	2 (—) [—]	—	1 (—) [—]	—					
受験者数	4 (—) [—]	—	4 (—) [—]	—	2 (—) [—]	—	1 (—) [—]	—					
合格者数	3 (—) [—]	—	4 (—) [—]	—	0 (—) [—]	—	1 (—) [—]	—					
B 入学者数	3 (—) [—]	—	4 (—) [—]	—	0 (—) [—]	—	1 (—) [—]	—					
入学定員超過率 B/A	1.00		1.33		0.00		0.33						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、**編入学の状況について外数で記入**してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ **転入学生は記入しないでください。**
- ・ [] 内には、**留学生の状況について内数で記入**してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、**春季入学とその他の学期**（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入**してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。**
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	3 [-] (-)	— [-] (-)	5 [-] (-)	— [-] (-)	0 [-] (-)	— [-] (-)	1 [-] (-)	— [-] (-)	・平成28年度入学生のうち、1名が年度途中で退学したが、平成29年4月1日(1年次)に再入学。(29) ・平成29年4月1日(2年次)に転入学した学生1名を含む。(29)
2年次	/		3 [-] (-)	— [-] (-)	4 [-] (-)	— [-] (-)	0 [-] (-)	— [-] (-)	
3年次	/		/		3 [-] (-)	— [-] (-)	5 [-] (1)	— [-] (-)	
計	3 [-] (-)	— [-] (-)	8 [-] (-)	— [-] (-)	7 [-] (-)	— [-] (-)	6 [-] (1)	— [-] (-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象研究科等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成28年度	3人	1人	平成28年度	1人	0人	学生個人の心身に関する事情と家庭の事情で退学(1名)・・・平成29年度から再入学
平成29年度	8人	1人	平成28年度	0人	0人	進路変更のため(1名)
			平成29年度	1人	0人	
平成30年度	7人	2人	平成28年度	1人	0人	仕事と学業の両立が困難となったため(1名)
			平成29年度	1人	0人	一身上の都合(1名)
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	6人	0人	平成28年度	0人	0人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		4人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象研究科等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{3} = \boxed{33.33} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{8} = \boxed{12.50} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{7} = \boxed{28.57} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{6} = \boxed{0.00} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<看護学研究科 看護学専攻(博士後期課程)>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	看護科学哲学	1前	2			1						兼1
	看護学研究方法論	1前	2			2						
	看護キャリア教育論	1・2前		2		1						
	看護マネジメント論	1・2前		2		1						
	小計(4科目)	—	4	4	0	4	0	0	0	0	0	兼1
基盤看護学	理論看護学特論	1後		2		2						
	看護教育管理学特論	1後		2		2						
	小計(2科目)	—	0	4	0	4	0	0	0	0	0	
	実践看護学	療養支援看護学特論	1後		2		4	1				
地域・在宅看護学特論		1後		2		2						
母子看護学特論		1後		2		3	1					
小計(3科目)		—	0	6	0	9	2	0	0	0	0	
演習・研究科目	理論看護学演習	1後		2		1						
	看護教育管理学演習	1後		2		2						
	療養支援看護学演習	1後		2		4	1					
	地域・在宅看護学演習	1後		2		2						
	母子看護学演習	1後		2		3	1					
	看護学特別研究	1~3通	8			11	2					
	小計(6科目)	—	8	10	0	11	2	0	0	0	0	
	合計(15科目)	—	12	24	0	12	2	0	0	0	0	兼1
卒業要件及び履修方法												
共通科目から必修科目2科目4単位及び選択科目1科目2単位を含め6単位以上、専門科目から研究課題に応じた選択科目を1科目2単位、「看護学特別研究」必修8単位、合計18単位以上を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。												

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	看護科学哲学	1前	2			1						兼1
	看護学研究方法論	1前	2			1						
	看護キャリア教育論(未開講)	1・2前		2			1					
	看護マネジメント論(未開講)	1・2前		2		1						
	小計(4科目)	—	4	4	0	2	1	0	0	0	0	兼1
基盤看護学	理論看護学特論	1後		2		2						
	看護教育管理学特論(未開講)	1後		2		1	2					
	小計(2科目)	—	0	4	0	3	2	0	0	0	0	
	実践看護学	療養支援看護学特論(未開講)	1後		2		2					
地域・在宅看護学特論(未開講)		1後		2		1						
母子看護学特論(未開講)		1後		2			3					
小計(3科目)		—	0	6	0	3	3	0	0	0	0	兼1
演習・研究科目	理論看護学演習	1後		2		2						
	看護教育管理学演習(未開講)	1後		2		1	2					
	療養支援看護学演習(未開講)	1後		2		2						兼1
	地域・在宅看護学演習(未開講)	1後		2		1						
	母子看護学演習(未開講)	1後		2			3					
	看護学特別研究	1~3通	8			7	4					
	小計(6科目)	—	8	10	0	7	5	0	0	0	0	兼1
	合計(15科目)	—	12	24	0	7	5	0	0	0	0	兼2
卒業要件及び履修方法												
共通科目から必修科目2科目4単位及び選択科目1科目2単位を含め6単位以上、専門科目から研究課題に応じた選択科目を1科目2単位、「看護学特別研究」必修8単位、合計18単位以上を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。												

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	看護科学哲学	1前	2									兼2	
	看護学研究方法論	1前	2			1						兼1	
	看護キャリア教育論	1・2前		2		1							
	看護マネジメント論(未開講)	1・2前		2		1							
	小計(4科目)	—	4	4	0	3	0	0	0	0	0	兼2	
基盤看護学	理論看護学特論(未開講)	1後		2		2							
	看護教育管理学特論	1後		2		2							
	小計(2科目)	—	0	4	0	4	0	0	0	0	0		
	療養支援看護学特論	1後		2		4	1						
	地域・在宅看護学特論(未開講)	1後		2		2							
実践看護学	母子看護学特論	1後		2		2	1						
	小計(3科目)	—	0	6	0	8	2	0	0	0	0		
	演習・研究科目	理論看護学演習(未開講)	1後		2		1						
		看護教育管理学演習	1後		2		2						
療養支援看護学演習		1後		2		4	1						
地域・在宅看護学演習(未開講)		1後		2		2							
母子看護学演習		1後		2		2	1						
看護学特別研究		1~3通	8			10	2						
小計(6科目)	—	8	10	0	11	2	0	0	0	0	0		
合計(15科目)	—	12	24	0	11	2	0	0	0	0	兼2		
卒業要件及び履修方法													
<p>共通科目から必修科目2科目4単位及び選択科目1科目2単位を含め6単位以上、専門科目から研究課題に応じた選択科目を1科目2単位、「看護学特別研究」必修8単位、合計18単位以上を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。</p>													

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	看護科学哲学	1前	2			1						兼1	
	看護学研究方法論	1前	2			1							
	看護キャリア教育論	1・2前		2		1							
	看護マネジメント論	1・2前		2		1							
	小計(4科目)	—	4	4	0	3	0	0	0	0	0	兼1	
基盤看護学	理論看護学特論	1後		2		2							
	看護教育管理学特論	1後		2		2							
	小計(2科目)	—	0	4	0	4	0	0	0	0	0		
	療養支援看護学特論(未開講)	1後		2		3	1						
	地域・在宅看護学特論	1後		2		2							
実践看護学	母子看護学特論(未開講)	1後		2		2	1						
	小計(3科目)	—	0	6	0	7	2	0	0	0	0		
	演習・研究科目	理論看護学演習	1後		2		2						
		看護教育管理学演習	1後		2		2						
療養支援看護学演習(未開講)		1後		2		3	1						
地域・在宅看護学演習		1後		2		2							
母子看護学演習(未開講)		1後		2		2	1						
看護学特別研究		1~3通	8			10	2						
小計(6科目)	—	8	10	0	11	2	0	0	0	0	0		
合計(15科目)	—	12	24	0	11	2	0	0	0	0	兼1		
卒業要件及び履修方法													
<p>共通科目から必修科目2科目4単位及び選択科目1科目2単位を含め6単位以上、専門科目から研究課題に応じた選択科目を1科目2単位、「看護学特別研究」必修8単位、合計18単位以上を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。</p>													

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	看護科学哲学(未開講)	1前	2			1						兼1
	看護学研究方法論(未開講)	1前	2			1						
	看護キャリア教育論(未開講)	1・2前	2			1						
	看護マネジメント論(未開講)	1・2前	2			1						
	小計(4科目)	—	4	4	0	3	0	0	0	0	0	兼1
基礎看護学	理論看護学特論(未開講)	1後		2		2						
	看護教育管理学特論(未開講)	1後		2		2						
	小計(2科目)	—	0	4	0	4	0	0	0	0	0	
	実証看護学	療養支援看護学特論(未開講)	1後		2		2	1				
地域・在宅看護学特論(未開講)		1後		2		2						
母子看護学特論(未開講)		1後		2		2	1					
小計(3科目)		—	0	6	0	6	2	0	0	0	0	
演習・研究科目	理論看護学演習(未開講)	1後		2		2						
	看護教育管理学演習(未開講)	1後		2		2						
	療養支援看護学演習(未開講)	1後		2		2	1					
	地域・在宅看護学演習(未開講)	1後		2		2						
	母子看護学演習(未開講)	1後		2		2	1					
	看護学特別研究	1~3通	8			10	2					
	小計(6科目)	—	8	10	0	10	2	0	0	0	0	
	合計(15科目)	—	12	24	0	10	2	0	0	0	0	兼1

卒業要件及び履修方法

共通科目から必修科目2科目4単位及び選択科目1科目2単位を含め6単位以上、専門科目から研究課題に応じた選択科目を1科目2単位、「看護学特別研究」必修8単位、合計18単位以上を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
3 科目	12 科目	0 科目	15 科目	3 科目 [0]	12 科目 [0]	0 科目 [0]	15 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{15} = \boxed{0.00}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

7 その他全般的事項

<看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- 平成27年に「看護学研究科委員会」を設置し継続している。
- 平成27年に「看護学研究科教務委員会」を設置し継続している。
- 平成27年に「看護学研究科FD/自己点検評価委員会」を設置し継続している。
- 平成27年に「予算委員会」を設置し継続している。
- 平成27年に「入試・広報委員会」を設置し継続している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

上記1～5の委員会は原則月1回開催し、委員の参加はほぼ100%であった。

c 委員会の審議事項等

- 入試日、募集要項、入試方法と入試問題、評価基準
- 博士後期課程の履修状況の確認、履修指導
- FD研修会の企画・運営/授業評価
- 教育環境の整備と予算執行

② 実施状況

a 実施内容

- 入試の実施：3期に分けて実施し、1名の受験者があり、合格となった。
- 博士後期課程の募集要項、履修の手引き、学生生活の手引きを作成した。履修指導を行った。
- FD研修会を2回実施した（「大学院教育について語り合おう！」「現象学的看護研究の理論と分析」）。
- 教育・研究環境整備として、ノートパソコン、ロッカー、講演台、パーティション等を設置して、学生受け入れ体制を整備した。

b 実施方法

研究科委員会～委員会のシステムの中で分担して実施した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

上記FD研修会は両プログラムともほとんどの教員と院生が参加した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

社会人履修のため、個々の事情に合わせて日時やプログラムを設定していった。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業評価アンケートは、前期と後期の終了時に実施し、科目毎にアクションプランを提出してもらった。

b 教員や学生への公開状況、方法等

現段階では学生に公開していない。公開する方向で方法等を委員会で議論している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

- a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）

該当なし

- b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

- c 委員会の審議事項等

該当なし

- d その他

該当なし

② 審議状況

- a 審議した内容

該当なし

- b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

- c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

看護の発展に寄与する研究者・教育者・管理者の輩出を目指し、指導教員・副指導教員の体制、年1回以上の発表会等を工夫して教育に当たっている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

平成30年3月27日

b 公表方法

大学ホームページ上に公開済

③ 認証評価を受ける計画

平成29年10月31日～11月2日、財団法人日本高等教育評価機構による評価を受審した。（資料2）

1. 評価の結果

【判定】

「評価の結果、徳島文理大学は、日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合していると認定する。」

2. 次回の計画

未定。教育研究の質の向上をめざし、広く社会の支持が得られるよう教育研究活動に努めたい。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (有 無)

b 公表有の場合の公表（予定）時期 (令和元年度中)

b 公表無の場合の特段の理由 ()

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。